



「平和」

平和とは、戦争や暴力で社会が乱れていない状態のこと、と人類はみなわかっていると思う。しかし、その平和は、ある日突然、危機的な状況になりうる。

地震や津波、火山の爆発、台風、豪雨、豪雪などの自然災害は、予測できないものもある。また予測できたとしても、人の考える程度と大きなずれとなることはしばしばあるように思う。



(シーサー 那覇空港 2024.7.5)

もっと残酷なのは、人間同士の争い、対立である。少しずつほころんでいく、人々の対立、争いの拡大が、多くの武器を使用して、自分の正しさを相手に押し付けようとする。

紛争や戦争はその最たるものである。そこには、そこで生きる人々への思いやり、優しい態度など、みじんもない。



(ベンチの高さまで草 延岡市 2024.7.2)

ただただ、自分の正当性を主張する。

ローマ教皇フランシスコが広島を訪問されたときのメッセージに、次のようなことを話された。

「…自分だけの利益を求めるため、他者に何かを強いることが正当化されてよいはずはありません。その逆に、差の存在を認めることは、いっそうの責任と敬意の源となるのです。…」



(夜明け 延岡市出北 2024.7.2 5:07am)

5年ぶりに、沖縄を訪れた。そこで初めて、前田高地に立ち寄った。沖縄最大の激戦地であった。浦添では、実に 44.6 %の住民が犠牲となったそうである。

戦後から現在まで、私たちはあまりにも多くの負荷を沖縄の皆さんにかけてしまっている。その事実を知ること。そして真の平和を取り戻す勇気をもつこと！



(壕 浦添市前田高地 2024.7.5)